

## 分析機器部門講習会シリーズ

## Carl Zeiss テクニカルセミナー

神経科学・発生生物学分野においては、組織の超深部観察を実現する技術として大きな注目を浴びています。どのようなシステムを備えればより深く、より明るいイメージングが可能になるのか？また取得した大容量セクション画像の処理方法など、トピックスを交えたテクニカルセミナーを下記の通り開催します。

日 時 : 平成24年11月20日(火) 16:00～17:00

演 者 : 佐藤 康彦 氏、 山口 雅子 氏  
カールツァイスマイクロコピー (株)

受講対象 : 深部観察に興味のある方

講習内容 : 組織の透明化処理を可能とした Scale 技術の基礎と深部観察のキーポイント、および高精度3次元立体構築解析ソフト「Imaris」の紹介

場 所 : 医学部基礎棟1階 会議室1 (学務事務室前)

定 員 : 50名

申込期間 : 平成24年11月15日(木)まで

申込方法 : 電子メールで、「Carl Zeiss」、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、「電子メールアドレス」を明記の上、  
ikuyo@med.nagoya-u.ac.jp 宛にお申し込みください。

## お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

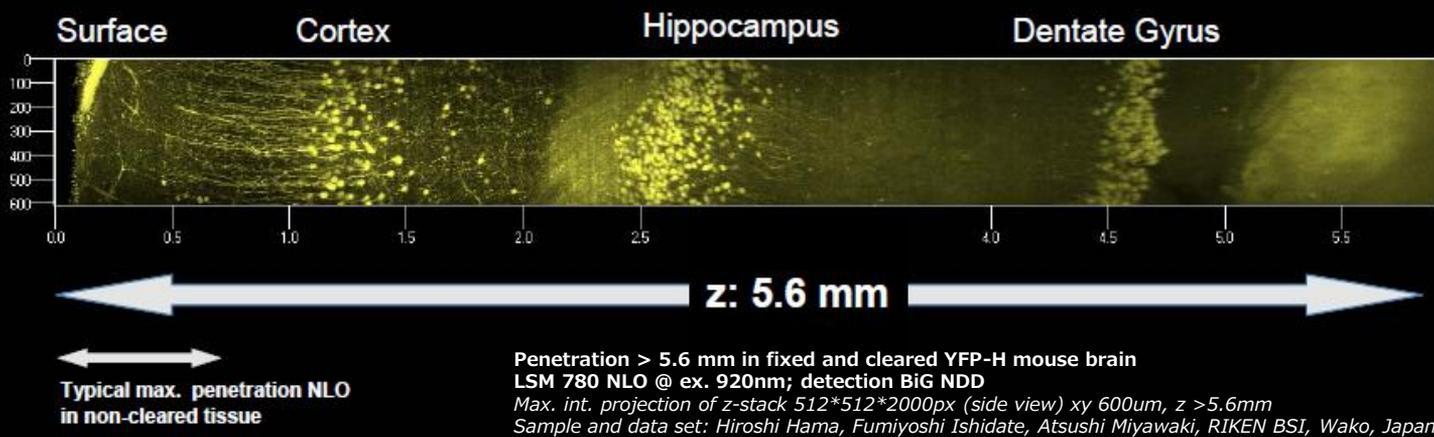
担当:水口 幾久代 (内線:2404、Email: ikuyo@med.nagoya-u.ac.jp)

※Webでも講習会情報を掲載しています (<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)

# Carl Zeiss Technical Seminar

Get More Result - more deep inside with Scale-treated specimens

GaAsP / New Objective / Single & Multi Photon LSM



## Scaleサンプルをより深く、詳細に観察するためのノウハウ How to observe scale-treated specimens at deep inside

※ This seminar is performed in Japanese, but English handouts will be prepared.

日時： 2012年11月20日 (火) 16:00-17:00  
 場所： 名古屋大学医学部基礎研究棟1階 会議室1 (学務課前)  
 演者： 佐藤 康彦  
 山口 雅子 (カールツァイスマイクロスコピー(株))

### <セミナー内容>

組織の透明化処理を可能としたScale技術【Hama et al. *Nat Neurosci.* 2011, 14, 1481-8.】  
 神経科学、発生生物学分野においては、組織の超深部観察を実現する技術として大きな注目を浴びています。どのようなシステムを備えれば、より深く、より明るくイメージングが可能になるのか？ また、その後の大容量セクション画像の処理について、下記のトピックスを中心にをご紹介します。

- 透明化試薬 "Scale" の基礎
- 深部観察のキーポイント1：対物レンズのW.D. (working distance; 作動距離)
- 深部観察のキーポイント2：検出器の感度：通常PMTとGaAsP検出器
- 深部観察のキーポイント3：シングルフォトンとマルチフォトン：各励起法を用いた画像例
- 高精度3次元立体構築、解析ソフト「IMARIS」のご紹介

※ 超長作動距離対物レンズを用いた深部観察デモを2013年1月21日~26日に予定しています。詳細をセミナー時にアナウンスします。

※ A demo "super-long working distance objective" will be set up in Nagoya Univ. on 21<sup>st</sup>-26<sup>th</sup> Jan. 2013.

The details will be explained at this seminar.



超長作動距離 (5.6 mm) 対物レンズ Super-long working distance (5.6 mm) objective

Contact:  
 Carl Zeiss Microscopy Co., Ltd.  
 Yasuhiko Sato (佐藤 康彦)  
 E-mail: sato.ya@zeiss.co.jp  
 Tel: 06-6337-5465



We make it visible.